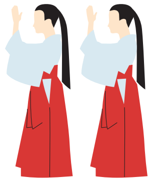
やまとの神さま



墨坂神社（宇陀市）

（住所）宇陀市榛原萩原703
（祭神）天御中主神、高皇産霊神、神皇産霊神、伊邪那岐神、伊邪那美神、大物主神

（交通）近鉄榛原駅から徒歩約10分
（拝観）境内自由
（駐車場）有、無料
（電話）0745・82・0114

墨坂神社本殿＝宇陀市榛原萩原で

日本最古 健康の神祭る

墨坂神社は伊勢本街道に近い宇陀川の右岸に鎮座しています。「墨坂」の地名は、神武東征の際に、八十梟帥軍が焃炭（山焼き）をして進攻を妨げた故事によっています。

「古事記」には崇神天皇の御代に国中に疫病が蔓延していた時、神人が天皇に「赤盾八枚・赤矛八竿を以て墨坂の神を祭り、黒盾八枚・黒矛八竿を以て大坂の神を祭れ」と告げられました。お告げに従うと悪病がやみ、暮らしが平穏になったとあります。大和の東の入口の墨坂神社に対し、西の入口は大坂山口神社（香芝市）です。

ご祭神は墨坂大神といわれる六神で日本最古の健康の神さまです。神社では現在も例祭のおりに「赤盾八枚・赤矛八竿」を奉納しています。当初、社殿は伊勢本街道の西峠「天の森」付近にありましたが、1449（文安6）年に現在地に遷座しました。十一月の例祭では、元の社地から渡御行列が現在の社殿に向かいます。

また長野県須坂市には科野国造が当神社から分祀した墨坂神社が二社あります。信濃にゆかりの建御名方命を合祀した神社で国人領主須田氏や武田信玄公、須坂藩主堀氏などの崇敬が篤く、須坂の地名の元にもなっています。

（奈良まほろばソムリエの会会員　島田宗人）